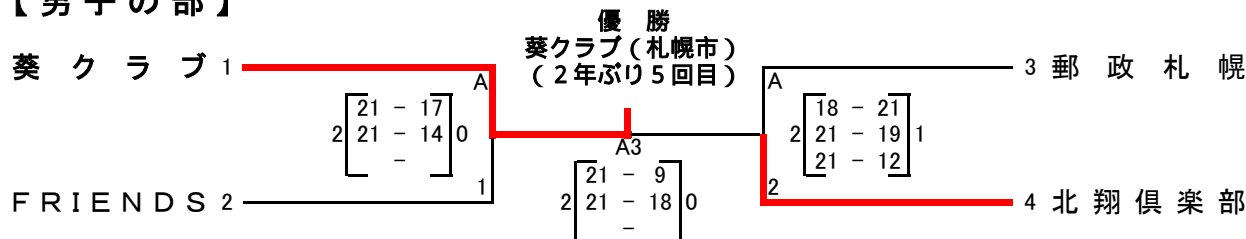


第26回 9人制選手権大会

平成20年11月16日(日) 札幌市白石区体育館

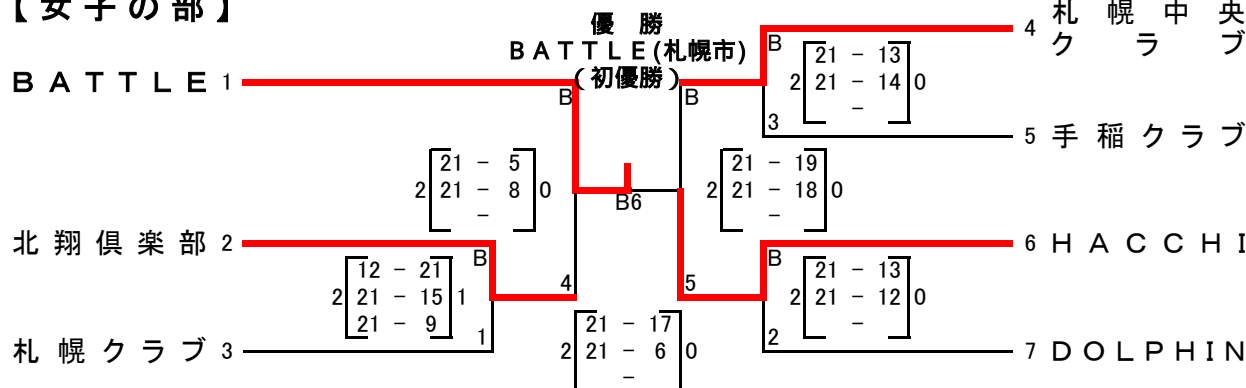
大会長：吉川 貴盛
 大会委員長：鈴木 一昭
 競技委員長：對馬 文治
 審判委員長：新見 登
 総務委員長：沓沢 幸一

【男子の部】



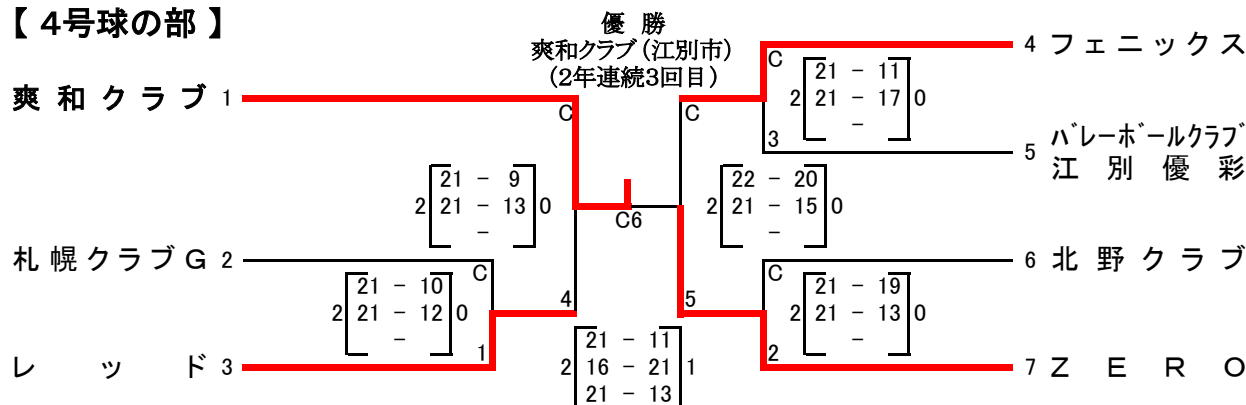
戦評(男子決勝戦)第1セット、序盤から葵クラブは1番キャプテン小林の活躍によりリードする。対する北翔倶楽部は3番エース増子にボールを集め応戦したが流れを変えることができず、中盤以降も速攻が冴えて得点を重ねた葵クラブが21-9と先取した。第2セット、北翔倶楽部は足が動き始め序盤より一進一退の攻防を展開する。中盤北翔倶楽部3番増子の活躍によりリードするが、葵クラブ11番山下のサービスエースで連続ポイントで逆転し、葵クラブが21-18と連取し2年ぶり5回目の優勝を飾った。

【女子の部】



戦評(女子決勝戦)第1セット終盤までお互い一步も譲らず一進一退の攻防を展開したが、攻守に勝るBATTLEが21-17と先取する。第2セット、前半は一進一退の攻防であったが、BATTLE3番森のサーブで流れをつかみ、相手のミスをさそい、攻守に勝るBATTLEが21-6と一方的に勝利を収め、初優勝を飾った。

【4号球の部】



戦評(4号球決勝戦)1セット、序盤からエース同士の打ち合いで始まったが、ZEROのアタックミスで爽和クラブがリードする。ZEROは粘り強いバレーで追いつけるが、中盤から爽和クラブは巧みなバレーで点を重ね21-11と先取する。2セット、序盤からZEROはブロック、サービスエースで5点差をつける。爽和クラブもエース7番成田にボールを集め応戦するが、点差は縮まらず、そのままZEROが21-16と振り切りセットカウントを対とする。決勝戦にふさわしくフルセットまでもつれた最終セットは、序盤サーブポイントで爽和クラブが一歩リードする。ZEROはエース5番高橋(理)にボールを集め応戦したが、終盤爽和クラブ7番成田の活躍で21-13と勝利し2年連続3回目の優勝を飾った。

【成績結果】

男子の部	優勝 葵クラブ (札幌市)	準優勝 北翔倶楽部 (札幌市)	3位 FRIENDS(札幌市) 郵政札幌(札幌市)
女子の部	優勝 BATTLE (札幌市)	準優勝 HACCHI (北広島市)	3位 北翔倶楽部(札幌市) 札幌中央クラブ(札幌市)
4号球の部	優勝 爽和クラブ (江別市)	準優勝 ZERO (札幌市)	3位 レッド(当別町) フェニックス(石狩市)